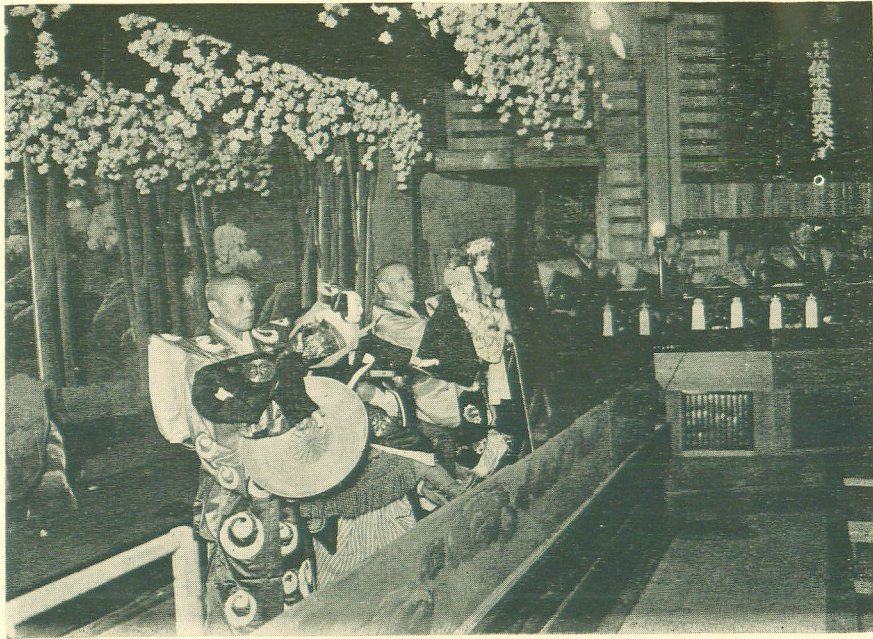


五割皆太郎著

人形芝居の研究

京都 更生閣



「義經千本櫻」

道行の段

静 狐 忠 信

(吉田 玉藏)
(吉田 文五郎)

—(置位の臺舞のとる淨と形人)—



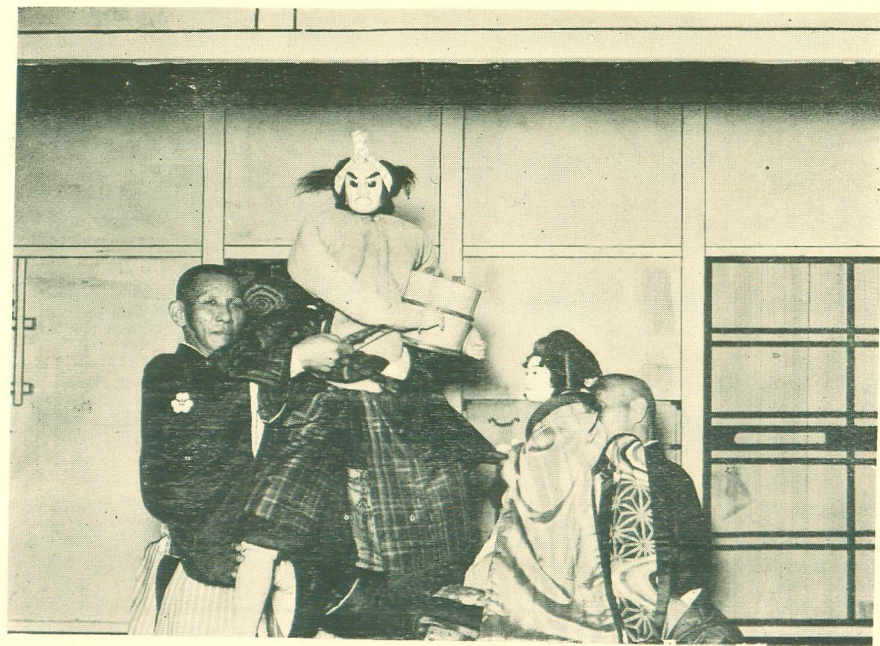
「假名手本忠臣蔵」

城渡し

由良之助

(吉田榮三)

—(「人形の構へ」についての参考)—



「義經千本櫻」

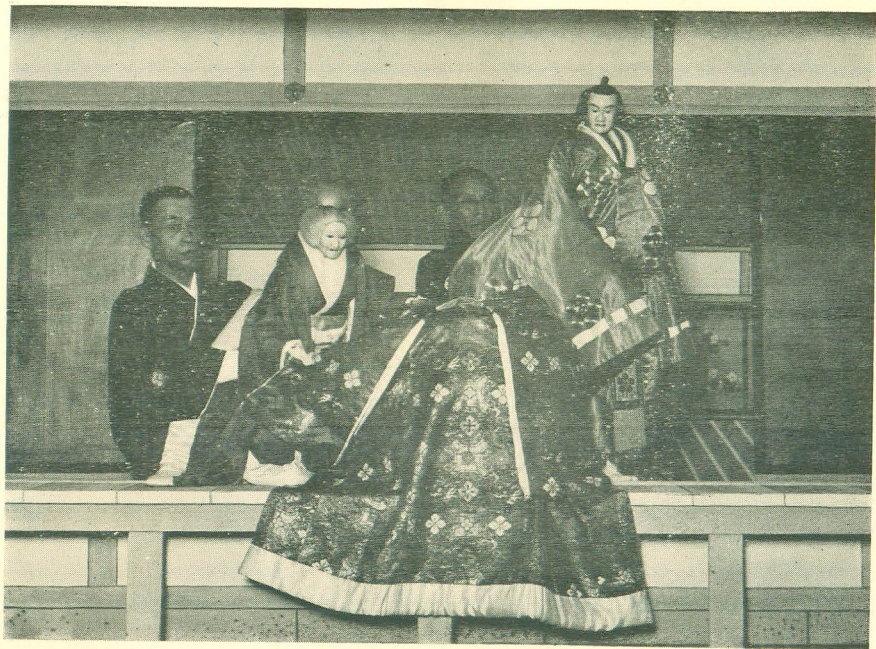
酢屋の段

権

太

(吉田榮三)
(吉田文五郎)

—(考參のていつに「例一の物荒」)—



「菅原傳授手習鑑」

二段目菅相丞の分れ

母 菅 相 丞
 覺 壽
 (吉田 榮三)
 (桐竹 政龜)

—(考參のていつに「位品の形人」)—



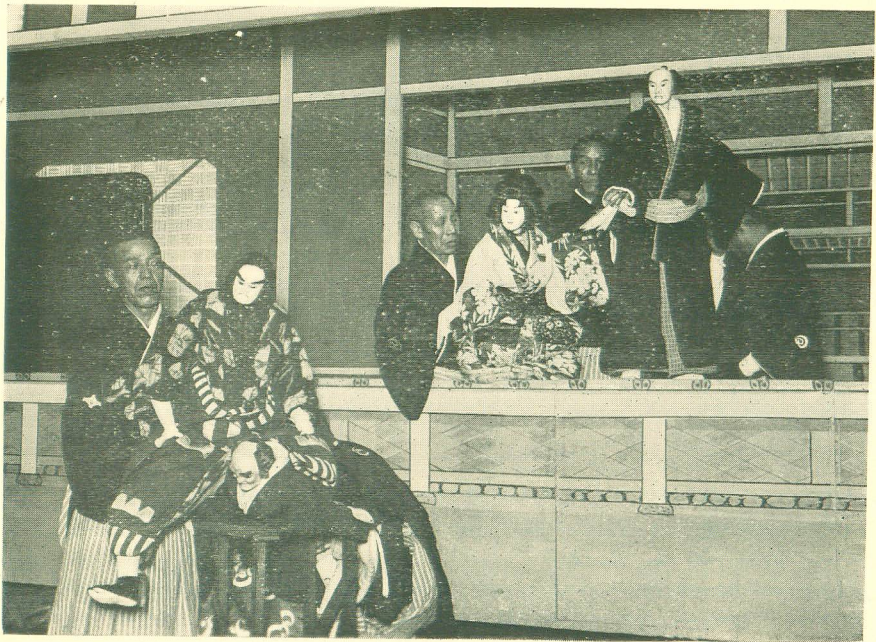
「平假名盛衰記」

逆櫓の段

船頭 松右衛門

(吉田榮三)

—「人形の技巧」を見せる遠見の場面—



「假名手本忠臣藏」

由良之助
 おか
 平右衛門
 九太夫

(吉田榮三)
 (吉田文五郎)
 (吉田玉次郎)
 (桐竹門藏)



「菅原傳授手習鑑」

車場の段

松 梅 櫻

王 王 丸

(吉田榮三)
(吉田玉松)
(桐竹紋十郎)



「伽羅先代萩」

土橋の段

か 與
さ 右
ね 衛
門

(吉田玉松)
(桐竹紋十郎)

—(考參ていつに「圖構の形人」)—

「重井筒容鏡」

享保十八年七月十五月初日の竹本座の珍しき古番付



七月十五日

大夫 竹本執後様
座本 竹田松雲後

付り内々の裏ハ縁堂の切こむと縁のこまより子のめんく

重井筒容鏡

美親室の難儀ハ縁飾のるは梅よりこまより子のめんく

一上之巻

竹本登受

重井筒下衣 竹田松雲
一白布房 相竹松雲

一中之巻

竹本登受

一巾居 任白布房
一縁巻り 相竹松雲

一下之巻

竹本登受

一子小布巾 相竹松雲
一一人赤氣 松竹松雲
一白布巾 山田松雲

菅原文布

一竹巻のり 竹田松雲
一巾居 中村松雲

二浦彩之布

一輕理人 菅原文布
一京鹿布 菅原文布
一重井筒座 菅原文布
一竹本松雲 相竹松雲
一白 山田松雲
一子登受 菅原文布



子登受

菅原文布

